

令和7年度沼田まつり検討委員会（第1回）概要

□日 時：令和7年10月23日（木）午後5時53分～午後7時06分

□場 所：テラス沼田4階 防災会議室404、405

□出席者：星野市長（委員長）、井熊会頭（副委員長）、中島区長会長、須田副会頭、

今井副会頭、塩浦副会頭、須田商業部会長、鈴木商店街連合会長、田邊経済部長、

小菅専務理事

□検討事項

（1）沼田まつり反省会の要望・意見について

各部会及び沼田まつり反省会にて提出された要望・意見について、次回に向けた対応の協議、検討を行った。

[決定事項]

- ・祇園囃子競演会の実施時間について、夜間変更する方向で各団体との調整を行う。
- ・日程変更に関する要望・意見は今後の検討方針も含め協議・検討を行う。
- ・入退出の時間設定や放送設備、照明設備などへの対応については事務局で検討し、検討結果を検討委員会に報告する。

[主な意見]

○競演会が14時からということで非常に暑い時間に実施しており、皆さんご苦労されていた。時間をずらすというのは当然の要望だと思う。

○以前から14時からというのはよくないから短くした方がいいと言って来たため、できればそうゆう風になった方がいいと思う。

○千人おどりの方に確認を取らないとならないと思う。今まで本町通りでやっていたのを倉内通りでもいいかという確認しておかないと進めづらい。

○まんどう部会の要望は全然OKだと思う。他行事とぶつからないようにする調整は事務局でしてもらうしかないのではないかと思う。

○入退出の時間や放送設備、照明設備などの対応は事務局で充分に検討いただき、案を検討委員会に示してもらうのでよいと思う。

（2）今後の検討方針について

前回までの検討委員会の検討経過の確認及び開催方法に関して検討を行う今後の方向性について、協議・検討を行った。

[決定事項]

- ・日付の変更案を元に次回検討委員会で協議し、その協議結果を元に須賀神社関係者と話し合うこととした。

[主な意見]

○区長会沼田支部の懇談会があったが、沼田まつりの日程に関する話が非常に多かった。

○社会情勢は土日開催を非常に強く望んでいるということを受け止めなければならない。

- ある程度定めたことを検討委員会で上げていかないと今後も大変なことになってくるし、本当に子供がいないので、それをどうにしていくかだと思う。3,4,5日でやるのは別にいいが、それをどうしていくのか、他の日時に話を進めていくのかどうかも含め、何か案を作っていくかないと難しいと思う。
- 実行委員会では来年度3,4,5日に開催するというのは決まっていないと思う。令和8年度は3,4,5日が平日になるので、土日を含んだ開催と平日開催を比較して最終決定しようということで検討委員会の中で話が出て、その方向性で行こうということになっていたと思うが、決定ということではなかった。ただ、私たちもそのつもりで思っていたので3,4,5日をもう一回行い、最終決定をするというのが私はいいと思う。
- 来年3,4,5日の平日開催を見るのも大事かもしれないが、今から様々な組み合わせを考えておく必要があるのではないかと思う。来年の3,4,5日が終わってから考えるの遅いのではないかと。変更の有無に関わらず来年が終わってからだと遅いと思う。
- 今までの例で言うと須賀神社の人が、お祭りが3,4,5日以外だと参加しませんよということを言ってきてている。みんなでうまくやっていかないとならないことでもあるので強く言えないし、喧嘩するわけにもいかない。暑さもそうだし、担い手もいない。夜なら出られるけど昼間は無理だなんて話もたくさんある。日付をもう動かさないとならないといった意見を持つ人がほとんどだが、3,4,5日でないといけない、神事だからダメだという強い意見を持っている人がいるから日付の意見も言いづらくなっている。
- 私は3,4,5日でもいつでもいいが、熱中症などがあるから3,4,5日でどうしても開催するのなら、極端な話、夜暑いから18時ぐらいから夜12時までの開催にして青少年育成条例を排除するような、そうゆうやり方もあるのではないかと思う。
- 神事は神事で3,4,5日にやってもらい、お祭りは日をずらしても金土日でやらせてもらいたいという話もしたのだが日が変わったら須賀神社みこしは出さないと言われた訳である。それだとお祭りにならないから今こうなっている。そうゆう経緯もあり、全然前に進めていない。
- 榛名神社も須賀神社も担げる人がないので隔年で榛名神社みこしと須賀神社みこしを担ぐような時代が来ると奉仕団の人の中で言われている。担ぎ手も今は応援ばかりでありだいたい3~5割は東京から來たり新潟から来ているため、沼田市民でなかつたりする。本来の、地元の人たちが担ぐみこしではなくなってきてしまっていると感じる。
- 3,4,5日にやっているからそれを目がけてやってくる人もいる。それはそれでいいが、やることが大変になっており、神社みこしを担ぐのも大変な状況である。何十年前の昔のお祭りの神社みこしと違う。本当だったら来年か再来年からか分からぬが、交代交替でみこしを出そうなんて話を須賀神社と話しているぐらいである。その状態が本当の状態なので、もう1年やってから考えますだと遅いと思う。だが、その前にこうゆう方針で行くと言いづらくなっているのがこの会議でもある。
- 来場者数よりも実際にみこしを担いだり、山車を引っ張っている人数が知りたいところである。お客様の数はどうでも良いが、まんどを引っ張ってくれる。太鼓をたたいてくれる、演奏してくれる。みこしを担いでくれる。そうゆう人たちが何人平日にしててくれるかを知りたい。
- 準備や片付けをしている人も含めて平日だと出にくいという話が出れば土日にしようという話になっていくと思う。サラリーマンもお祭りであれば休んでいい風潮が昔はあったが、段々とそんなこともなくなってきた。それもあり、サラリーマンからは土にしてほしいという意見が出てきている。

- 今、須賀神社の神事としてのお祭りと昔やっていた大商業祭の形に戻せと言った話が意見として出ている。こっちは神事として決まった中でやっているのでそれを変えるわけにいかないから、それはそれでやっていく。大商業祭は神事でないから土日にやってもいいのではないか。ということが言われている。
- まんどとみこしを出すことを2回やると言ったら、そんな金はないという話も出てくると思う。勝手な意見にはなるが、神事は神事でやってもらい、みんな集まるところで盛大にお祭りをやるというのがいいと思う。
- 神事というのはみこしが出ることと、付け祭りとしてのまんどが出ることの二つが一体となったもののため、みこしを担ぐだけが神事でまんどは別とはならない。おみこしを出してお祓いをして氏子町内を回り、同時につけ祭りとしての山車が氏子町内にあるわけでもある。
- 来年は8月3,4,5日でやる。ただ、来年の2月の実行委員会には令和9年度こうやりたいということを言わないとおそらく動かないと思う。これ以上沼田まつりの日程についての問題を先伸ばしにはできない。お叱りを受けるのも覚悟している。自分的には沼田まつりは暑い方がいい。ただ、この暑さが異常なので、行事は17時からやった方がいいというのは皆さん意見が一致していると思う。沼田まつりの日程を変えることについては考えざるを得ないと思う。社会全体としても担い手がいないため、切実な問題でもある。日程に関する案をこの場で何回か協議した上で令和9年度から変えるならば、2月の実行委員会にはお伝えしたい。その前に関係部会にお話をした上で実行委員会に臨み、1年以上かけて調整しないと変更した日程で開催できないと思う。須賀側の意見として3,4,5日は神事でやっているから他にずらすなら勝手にやってくれ、そちらには参加しないと言われたらそれはつらい。そこは頭を下げるしかないと思う。市民や来ている皆さんが日にちを別にやることは誰も望んでいないとも思う。
- 神事として考えないとならないのも大事だが、3,4,5日で何かしら須賀神社に関わる神事としてのおぎよんということを行い、フェスティバルはフェスティバルでみんなで楽しく参加するというのが考えられないだろうか。
- どちらにしろベストはないと思う。それで実施してみてダメだったら変えればいいこともある。もともと3,4,5日も明治時代に変わった話もある。継続して実施できればまたそれが伝統にもなると思う。